FUJIFILM

サーバーレスオンデマンドプリント
どこでもプライベートプリント
ID 選択プリント

取扱説明書

2026年10月　GM2376J1-1 1版
©富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

・ Microsoft および Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
・ Adobe および PostScript は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。
・ その他の社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

・ このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
・ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の表記

■ 本文中の「リモート機」は、お使いの機械からプリントジョブを共有する機械のことを指します。

■ 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記
必ず知っておいていただきたい情報、操作するときに必ず確認していただきたい情報を記載しています。

補足
操作の参考になる情報を記載しています。

参照
参照先を記載しています。

■ 本文中では、次の記号を使用しています。

「　」	・本書内にある参照先を表しています。 ・機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
『　』	・参照するマニュアルを表しています。
[　]	・機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。 ・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
〈　〉ボタン	・機械の操作パネルのハードウェアボタンを表しています。
〈　〉キー	・コンピューターのキーボードのキーを表しています。
＞	・操作パネルやコンピューターで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。

1　サーバーレスオンデマンドプリントとは

サーバーレスオンデマンドプリントは、「プライベートプリント」や「認証プリント」で機械に蓄積した文書を、連携した複合機からプリントできるようにするアプリケーションです。

サーバーレスオンデマンドプリントでは、コンピューターから指示したプリントジョブをいったん機械に蓄積します。ユーザーは、機械からジョブを呼び出してプリントします。ジョブを蓄積するためのサーバーは必要ありません。

ジョブを蓄積している機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。また、プリントする前にジョブを確認できるので、無駄なプリントを削減できます。

どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの違い

サーバーレスオンデマンドプリントには、お客様がお使いの認証の環境に合わせて 2 つのアプリケーションが用意されています。ご利用の環境に合わせて、どちらか 1 つのアプリケーションをご利用ください。

どこでもプライベートプリント

［認証 / 集計の設定］が［本体認証 / 集計］、［外部認証 / 集計］、［認証しない］のいずれかで、IC カードをお使いの場合に利用できます。

ID 選択プリント

［認証 / 集計の設定］が［認証しない］で、IC カードも使用していない場合に利用できます。

注記

・どこでもプライベートプリントと ID 選択プリントの併用はできません。

項目		どこでもプライベートプリント	ID 選択プリント
認証	本体認証（IC カードあり / なし）	○	×
	外部認証（IC カードあり / なし）	○	×
	なし（IC カードあり）	○	×
	なし（IC カードなし）	×	○
最大連携可能台数（ジョブを共有できる機械）		100 台	100 台 *1
グルーピング機能	最大グループ数	10	10
	1 グループに登録できる複合機の数	99 台	10 台 *1
	グループに所属しない複合機の文書検索	○	×*1
	認証方式の設定	必要 *2	不要
	ユーザーの登録	必要 *2	不要
設定必須の項目	受信制御	プライベートプリントに保存	認証プリントに保存

*1：ジョブを共有できる機械は最大 100 台ですが、同時に検索できるのは、同一グループに所属する機械（最大 10 台）だけです。

*2：認証なし、かつ IC カードを運用している場合は不要です。

サーバーレスオンデマンドプリントの特長

プリントジョブの共有

- ジョブを受信した機械が使用中でも、空いている機械からプリントできます。
- ジョブを共有できる機械は、ジョブを受信した機械とあわせて 100 台まで設定できます。事前にグループを設定し、特定のグループに所属する機械だけを検索し、蓄積されている自分のプリントジョブをプリントします。

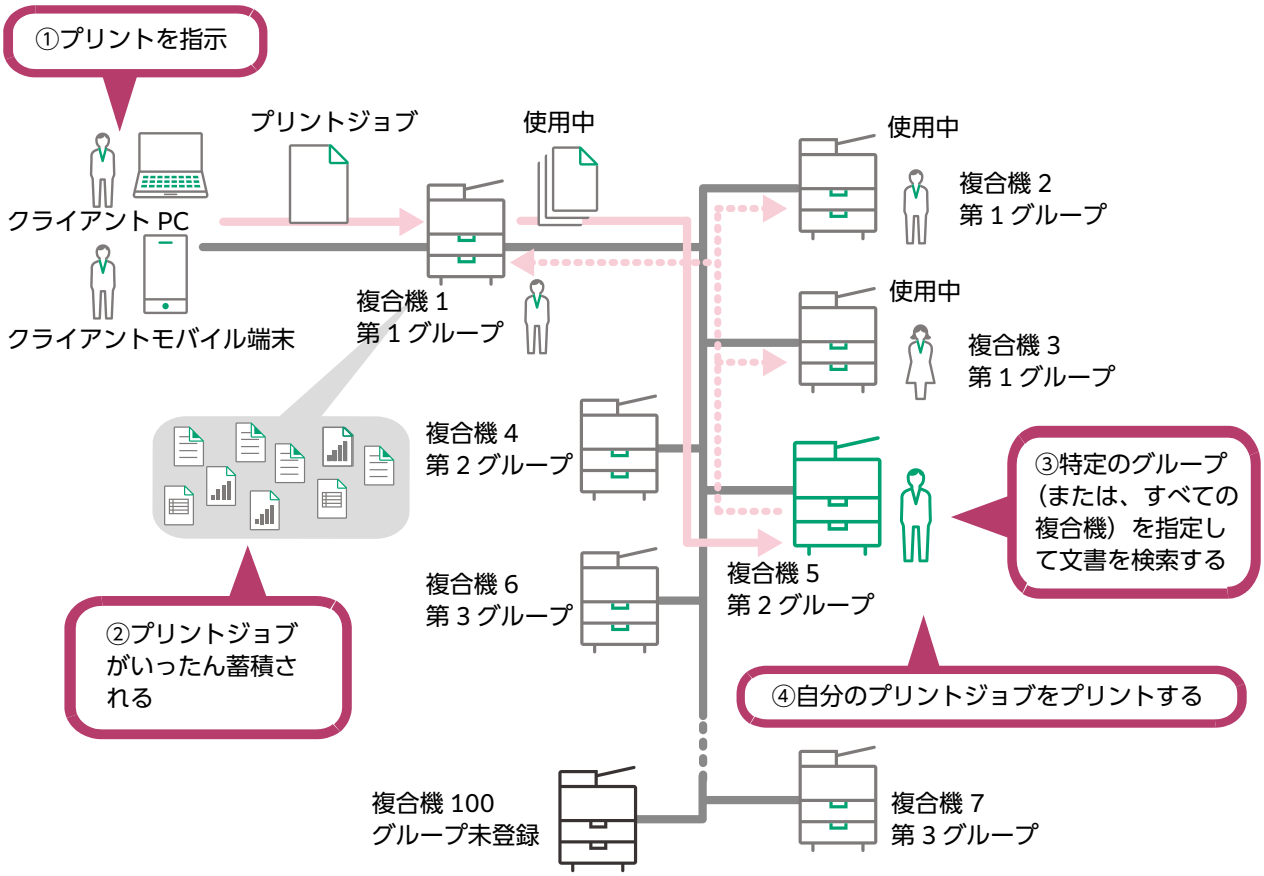
  補足

  ・ID 選択プリントでは、1 グループあたり最大 10 台の機械（複合機）を、最大 10 グループまで設定できます。

  ・ジョブを共有できる機械は最大 100 台ですが、同時に検索できるのは、同一グループに所属する機械（最大 10 台）だけです。
- ID 選択プリントの場合、機械 1 台あたりに登録可能な認証プリントボックスのユーザーID は 200 件です。
  1 つのグループに最大 10 台の機械を登録した場合は、一覧に 2000 件まで表示できます。

  注記

  ・一台の機械にプリントジョブが集中すると、機械のハードディスク容量がいっぱいになり、別の機械からアクセスしたときにプリントジョブが集中している機械の応答が遅くなることがあります。ユーザーは、一台の機械にプリントジョブを集中させないように近くの機械にプリントジョブを送信してください。



プリント設定の変更

コンピューターで行ったプリント設定を、機械側でプリント時に変更できます。

両面で出力したい文書を片面でプリントするように指示してしまった場合でも、プリント時に両面プリントに変更できます。ユーザーはコンピューターから再度プリント指示する操作を省くことができます。

参照

・詳しくは、「プリント設定の変更」（P.34）を参照してください。

プリント済み文書の確認

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書は、［履歴からプリント］画面に表示され、再度プリントできます。

ジョブが完了した文書を再度プリントしたい場合、ユーザーはコンピューターからプリント指示する操作を省略することができます。

参照

・詳しくは、「プリント済み文書の再利用」（P.35）を参照してください。

対象機種

本機能を利用できる機種については、公式サイトをご覧ください。

2 使用環境の設定

本機能を使用するために必要な設定項目を説明します。本機能を使用する前に、次の項目が正しく設定されているか確認してください。

本体側の設定

あらかじめお使いの機械で次の設定をしておく必要があります。設定方法の詳細は、お使いの複合機のマニュアルを参照してください。

共通の設定

項目	設定内容
SOAP ポート	[設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] ・SOAP ポート：起動 ・ポート番号：80
メモリー設定	[設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [メモリー設定] ・受信バッファ - IPP：スプールする
Web ブラウザー設定	[設定] > [アプリ設定] > [Web ブラウザー設定] ・終了時のキャッシュ削除：無効 ・キャッシュの使用：有効
プロトコル設定	[設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] ・TCP/IP - ネットワーク設定：IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、お使いの機械を TCP/IP 環境で使用するための設定 補足 ・お使いの機械の IP 動作モードと、プリントジョブを共有する機械の IP 動作モードが同じになるように設定してください。 [設定] > [ネットワーク設定] > [プロキシサーバー一覧] > [プロキシサーバー設定] ・プロキシを使用しないアドレス：localhost 補足 ・本機能を使用する場合、「localhost」を削除しないでください。

どこでもプライベートプリントで必要な設定

項目	設定内容
認証方式の設定 *1	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] ・認証 / 集計の設定：本体認証 / 集計、または、ネット認証 / 集計 ・ユーザーの登録 補足 ・認証方式は、お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。 ・[認証 / 集計の設定] を [認証しない] に設定していても、本機能を使用することができます。 ただし、IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。その場合、IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一の User ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。

項目	設定内容
認証情報の設定	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] ・パスワード使用 -IC カード認証時：しない **補足** ・IC カードを利用した外部認証を使用する場合は、この設定が必要です。
プライベートプリントの設定	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] ・受信制御：プライベートプリントに保存 **補足** ・本体認証の場合は、受信制御で [プリンターの認証に従う] を選択し、[認証成功のジョブ] で [プライベートプリントに保存] を選択して設定することもできます。

*1 どこでもプライベートプリントの場合で、本体認証、または外部認証を使用するときは、この設定が必要です。お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。
どこでもプライベートプリントの場合で、[認証 / 集計の設定] を [認証しない] に設定していても、本機能を使用することができます。ただし、IC カードリーダーがお使いの機械に装着されている必要があります。その場合、IC カードリーダーが読み取ったカード番号と同一のユーザー ID のジョブだけがプリント対象となります。お使いの機械でのユーザーの登録は不要です。

ID 選択プリントで必要な設定

項目	設定内容
認証方式の設定	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] ・認証 / 集計の設定：認証しない
認証 / プライベートプリントの設定	[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / プライベートプリントの設定] ・受信制御：認証プリントに保存

サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定

機械管理者でログインし、サーバーレスオンデマンドプリントを利用するための設定をします。
設定は、本機能の管理者設定画面から行います。

補足
・管理者権限のある認証ユーザーの場合は、画面左部の 〉を押し、[管理メニュー] を押すと、管理者設定画面が表示されます。

操作手順

1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。

2 [どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] を押します。

補足
・画面に表示する機能ボタンの設定を変更している場合、[どこでもプライベートプリント] ボタンまたは [ID 選択プリント] ボタンが表示されないことがあります。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
・[どこでもプライベートプリント] ボタンまたは [ID 選択プリント] ボタンが表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「2 使用環境の設定」(P.7) を参照してください。

3 セットアップ画面で［実行］を押すと、自動でセットアップが開始されます。
終了すると、機械が再起動します。
2 回目以降に［どこでもプライベートプリント］または［ID 選択プリント］にアクセスすると、管理者設定画面で任意の項目を設定できます。

注記

・自動セットアップを行うと、蓄積されている文書はすべて削除されます。

サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールについて

サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを使用すると、サーバーレスオンデマンドプリントでご利用になる環境をお使いのコンピューターで一括入力し、設定情報ファイルとして複合機に一括送信 / 設定することができます。

詳しくは、「3 サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツール」（P.14）を参照してください。

管理者設定画面

どこでもプライベートプリントの場合



ID 選択プリントの場合



複合機の登録

参照

・［複合機の登録］画面については、「［複合機の登録］画面」（P.11）を参照してください。

グループ名の変更

参照

・［グループ名の変更］画面については、「［グループ名の変更］画面」（P.13）を参照してください。

文書選択の初期設定

文書一覧画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。

検索対象の複合機の初期設定（どこでもプライベートプリント対象）

参照

・［検索対象の複合機の初期設定］画面については、「［検索対象の複合機の初期設定］画面（プライベートプリント対象）」（P.13）を参照してください。

文書の検索動作（どこでもプライベートプリント対象）

文書を検索するときの動作を指定します。

［文書が見つかったら停止］を選択した場合は、［どこでもプライベートプリント］画面の「複合機の指定（プライベートプリント対象）」（P.31）で、どの機械を検索対象に設定しているかによって、動作が異なります。

- 検索対象に操作している機械が含まれている場合は、まず操作している機械に対して文書の検索が実施されます。
- 検索対象に操作している機械が含まれていない場合、または含まれていても操作している機械に文書が蓄積されていない場合は、リモート機で検索対象となるものの最初の 5 台に対して文書の検索が実施されます。

補足

・［すべての複合機を検索］を選択した場合は、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の検索に時間がかかることがあります。

文書の表示順

文書の表示順を［日時の新しい順］、［日時の古い順］から選択します。

接続タイムアウト時間

リモート機に文書のプリントやジョブの削除を指示したり、リモート機から文書の一覧を受信したりするときの、接続の有効時間を設定します。

補足

・一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。タイムアウトすると、受信したプリントジョブはキャンセルされるので、使用状況を考慮して時間を設定してください。

・どこでもプライベートプリントの場合、機械の登録台数と接続タイムアウト時間によっては、文書の受信に時間がかかることがあります。使用状況を考慮して時間を設定してください。

［履歴からプリント］の使用

プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を、再利用するかどうかを設定します。

［する］を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、［履歴からプリント］画面から再度プリントできます。［しない］を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除され、［履歴からプリント］画面は表示されません。

注記

・本機能では、［しない］を選択した場合、プリントや転送が完了した文書は必ず削除され、ジョブを保存するかどうかの設定はできません。プリントや転送が完了した文書を保存する場合は、［する］を選択してください。

参照

・［履歴からプリント］画面については、「プリント済み文書の再利用」（P.35）を参照してください。

全文書選択時のプリント順

すべての文書を選択した場合のプリント順を［［文書の表示順］の設定に従う］、［日時の新しい順］、［日時の古い順］から選択します。

ユーザー ID 選択の複合機指定（ID 選択プリント対象）

参照

・［ユーザー ID 選択の複合機指定］画面については、「［ユーザー ID 選択の複合機指定］画面（ID 選択プリント対象）」（P.13）を参照してください。

ユーザー ID 表示順の初期設定（ID 選択プリント対象）

ユーザー ID の表示順を［名前の昇順］、［名前の降順］から選択します。

エラーの詳細表示

［する］を選択すると、画面全体にポップアップ画面が表示され、エラーの詳細を確認できます。
［しない］を選択すると、画面の上部にエラーの概要だけが表示されます。

文書の表示形式の初期設定

文書一覧の表示方法の初期値を設定します。

文書の検索方式

［すべての ID で検索］を選択すると、認証時に機械が取得するすべての ID を使って検索します。

［認証時の ID で検索］を選択すると、認証時に機械が取得する唯一の ID を使って検索します。通常はこちらを指定してください。

注記

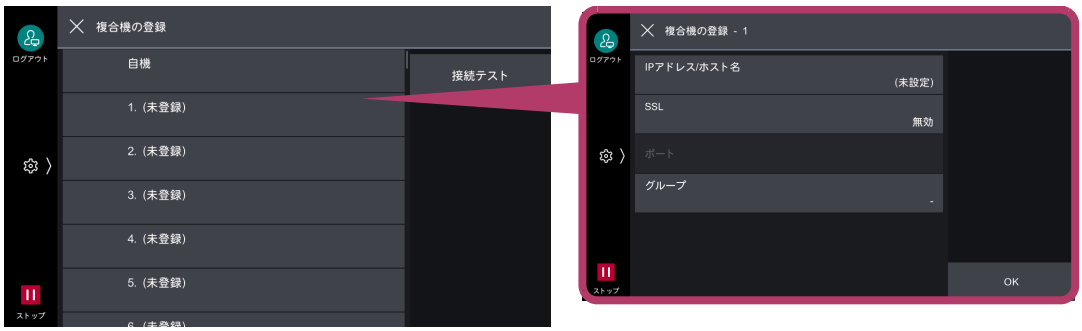
・［すべての ID で検索］を選択した場合、文書の一覧に他のユーザーの文書が表示される場合があります。

［複合機の登録］画面

［複合機の登録］画面では、お使いの機械とリモート機を設定します。

補足

・ID 選択プリントの場合、文書の一覧を一度に取得できるのは、最大で同一グループに所属する 10 台までです。
・文書一覧画面で、特定のグループに蓄積された文書の一覧を表示する場合は、ここで登録された同グループに設定された機械を上から順に 5 台単位で接続し、リモート機に蓄積されている文書の一覧を検索します。よって、よく利用するリモート機から登録することをお勧めします。
・お使いの機械の［IP アドレス / ホスト名］、［SSL］、および［ポート］は表示されません。お使いの機械での設定の確認方法については、お使いの機械のマニュアルを参照してください。



・機械の設置時やリモート機を追加した場合は、すべてのリモート機に電源が入った状態で［接続テスト］を行ってください。
［接続テスト］を行わない場合、文書の一覧の取得ができないことや、自機が A4 対応の機械では A3 対応の機械に蓄積されたプリントジョブに⚠アイコンが出ないことがあります。

IP アドレス / ホスト名

補足

・IP アドレスは、次のように入力してください。
例）
・192.0.2.1 （IPv4 の場合）

・[2001:DB8::1234]（IPv6 の場合）

注記

・セカンダリーネットワーク（オプション）を使用できる機械をお使いの場合、本機能を使用するときは、本機およびリモート機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。本機能はセカンダリーネットワークでは使用できません。
・ID 選択プリントの場合、IP 動作モードはすべての機械で同じになるように設定してください。

SSL

機械で設定した SSL の設定を選択します。[有効] に設定した場合は、お使いの機械でリモート機から文書一覧を取得するときに SSL を使用します。

[無効] に設定した場合は、SOAP を使用します。

設定を変更する場合は、この設定だけでなく、機械側の設定も変更してください。

注記

・リモート機からの文書一覧取得等に SSL 通信が利用できます。また、一部の機種では、リモート機とお使いの機械の両方で SSL の設定が有効の場合、プリントデータ転送に SSL 通信を利用できます。
・プリントデータの転送を暗号化するためには、IPsec をお使いください。IPsec の設定については、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
なお、リモート機の機種によっては、通信プロトコルが IPv6、かつ IKE 認証方式として事前共有鍵を選択していると、IPsec 通信ができないことがあります。その場合、IPsec 通信を IPv4 で運用するか、IKE 認証方式としてデジタル署名を選択してください。

ポート

SSL のポート番号に、初期値ではない値を設定しているとき、使用するポート番号を入力します。

補足

・この項目は、[SSL] を [有効] に設定している場合に設定できます。
・SSL のポート番号はすべての機械で一致している必要があります。ポート番号に初期値（443）ではない値を設定した場合は、すべての機械に変更したポート番号を設定してください。

グループ

所属するグループを選択します。

どこでもプライベートプリントの場合、文書一覧画面でグループを指定すると、同グループ内のリモート機に蓄積されている文書の一覧を取得できます。

ID 選択プリントの場合、[ユーザー ID 選択] 画面でグループを指定すると、同グループ内のリモート機に蓄積されている文書の情報を取得できます。

[-] を設定したリモート機は、グループ未登録機として扱われます。

補足

・どこでもプライベートプリントの場合、グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、表示する文書ドロップダウンリストで [すべての複合機] を選択する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
・ID 選択プリントの場合、1 グループあたり最大 10 台の機械を設定できます。
・ID 選択プリントの場合、グループ未登録機に蓄積されている文書の情報は取得できません。

接続テスト

[接続テスト] を押すと、接続テストが開始され、IP アドレス / ホスト名を入力したすべての機械の接続状況を確認します。

注記

・[認証方式の設定] を [認証しない] に設定した状態で接続テストを行った場合、接続テストに成功しても文書の一覧を取得できないことがあります。

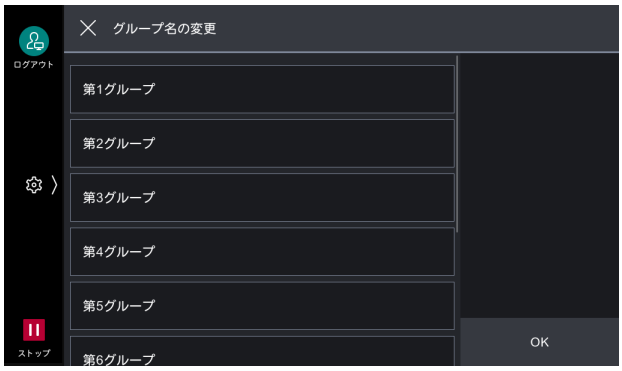
補足

・接続テストは、登録したすべての機械に 5 台単位で実施されます。
・機械の登録台数と、管理者設定画面の [接続タイムアウト時間] の設定によっては、接続テストの完了までに時間がかかる場合があります。

・接続テスト中の機械がある場合、[中止] を押しても、すぐにテストは中止されません。この場合、接続テストが完了するまで、「接続テストを中止しています。」と表示されます。

[グループ名の変更] 画面

[グループ名の変更] 画面では、グループの名称を設定できます。グループ名は全角、および半角で 20 文字以内で設定します。



[検索対象の複合機の初期設定] 画面（プライベートプリント対象）

文書一覧画面の初期表示を設定します。

[この複合機] を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。[すべての複合機] を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書の一覧が初期表示されます。

[ユーザー ID 選択の複合機指定] 画面（ID 選択プリント対象）

[ユーザー ID 選択] 画面の初期表示を設定します。

[この複合機] を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

[第 1 グループ] ～ [第 10 グループ] のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

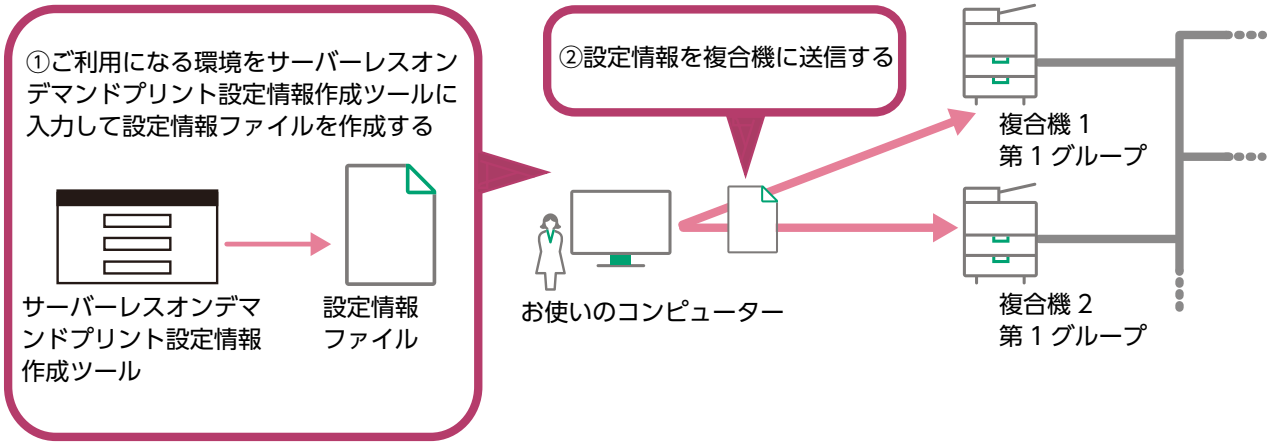
3 サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツール

サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールとは

サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールは、サーバーレスオンデマンドプリントでご利用になる環境をお使いのコンピューターで一括入力し、設定情報ファイルを作成するツールです。本ツールで作成した設定情報を選択した複合機に送信し、設定することができます。

注記

・機械の管理者メニューからサーバーレスオンデマンドプリントの設定を変更した場合は、本ツールを使って設定情報ファイルも更新してください。



必要な環境

参照

・本ツールのご利用に必要な環境については、本ツールの圧縮ファイルに同梱された『readme.html』をご覧ください。

設定情報ファイルの作成

本ツールで設定情報ファイルを作成するために必要な設定項目を説明します。まず事前準備を行い、その後、本ツールを使用して設定情報ファイルを作成してください。

事前準備

本ツールでは、以下の情報を入力します。サーバーレスオンデマンドプリントを使用する環境にあわせて、あらかじめ確認、または決定しておきます。

複合機の情報

サーバーレスオンデマンドプリントで使用する機械の各設定を確認します。確認方法は、お使いの機械のマニュアルを参照してください。

- 機械管理者 ID および機械管理者パスワード *1
- IP 動作モード *1、IP アドレスまたはホスト名

*1:お使いの機械とプリントジョブを共有する機械の設定が同じになるように設定してください。

注記

・セカンダリーネットワーク（オプション）を使用できる機械をお使いの場合、サーバーレスオンデマンドプリントを使用するときは、本ツールおよび複合機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。サーバーレスオンデマンドプリントはセカンダリーネットワークでは使用できません。

- SSL 設定の有効 / 無効
- ポート番号（SSL が有効な場合の SSL のポート番号）

補足

・SSL 無効時はポート番号は指定できません。SSL 有効時は、デフォルトポート番号（443）を使用しない場合に指定します。

- シリアル番号
- 所属するグループ

グループ

必要に応じてグループ分けを決定します。

- グループ名

参照

・「グループ（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）」（P.19）、「グループ（［ID 選択プリント用ツール］の場合）」（P.19）を参照してください。

設定情報ファイルの作成

サーバーレスオンデマンドプリントの環境を構築するための設定情報ファイルを作成します。設定は、各設定ツールのメイン画面から行います。

注記

・設定情報ファイルは、本ツール以外で作成しないでください。

操作手順

1 お使いのコンピューターで、弊社公式サイトからダウンロードした本ツールの圧縮ファイルを解凍し、フォルダー内の「UserTool.exe」をダブルクリックします。サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールが起動し、ツールを選択する画面が表示されます。

補足

・［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、［開く］を押して続行してください。

2 運用するアプリケーションに合わせて、［どこでもプライベートプリント］または［ID　選択プリント］のボタンをクリックします。

注記

・［ID 選択プリント］は、お使いの機種によっては、利用できない場合があります。対応機種については、弊社公式サイトをご覧ください。
・［撤収］タブは、お使いの機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールするときに使用します。

3 各設定ツールのメイン画面で［環境設定］、［複合機の登録］、または［グループ名の変更］をクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。各画面で任意の項目を設定し、［OK］をクリックします。

補足

・作成済みの設定情報ファイルを再編集する場合は、最初に［ファイル］メニューから［設定情報ファイルの読み込み］を選択して、設定情報ファイルを読み込んでから各項目を設定します。

・編集中に、設定した内容をすべて初期値に戻す場合は、［編集］メニューから［設定の初期化］を選択します。
・お使いのツールのバージョンは各設定ツールのメイン画面の左下に表示されます。

注記

・古いバージョンの設定情報作成ツールで作成した設定情報ファイルは、最新の設定情報作成ツールで読み込むことができます。ただし、設定情報作成ツール V1.0 で SSL 無効、かつポート番号が［80］ではない機械を設定した設定情報ファイルを最新の設定情報作成ツールで読み込むと、ポート番号は自動的に空文字に変更されます。
・最新の設定情報作成ツールで作成した設定情報ファイルは、古いバージョンの設定情報作成ツールで読み込まないでください。正常に読み込めない場合があります。
・［どこでもプライベートプリント用ツール］と［ID 選択プリント用ツール］で作成した設定情報ファイルは、お互いに読み込むことができます。ただし、作成するのに使用したツールと別のツールで読み込み、保存したファイルを、再度元のツールで読み込むと、最初に設定した値が変わっている場合があります。

4 ［ファイル］メニューから［設定情報ファイルの保存］を選択します。

5 設定情報ファイルを保存する場所を指定したあと、任意のファイル名を入力して［保存］をクリックします。

補足

・設定情報ファイルの種類は「xml」で保存してください。その他の種類で保存すると正しい設定情報ファイルが作成されません。

続けて、設定情報ファイルを複合機に送信します。「設定情報の送信」(P.20) に進んでください。

［環境設定］画面

［環境設定］画面では、サーバーレスオンデマンドプリントの使用環境を設定します。

文書選択の初期設定

操作中の機械で文書の一覧画面を表示するときに、文書が選択された状態にするかどうかを設定します。

検索対象の複合機の初期設定（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）

文書の一覧画面の文書一覧の初期表示を設定します。

［この複合機］を選択すると、操作中の機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。［すべての複合機］を選択すると、操作中の機械とジョブを共有する機械（以降、リモート機と呼びます）に蓄積されているすべての文書の一覧が初期表示されます。［この複合機が所属するグループ］を選択すると、［複合機の登録］画面で設定したグループ分けに応じて、グループ内の機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。［第 1 グループ］～［第 10 グループ］のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書の一覧が初期表示されます。

文書の検索動作（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）

文書を検索するときの動作を指定します。文書の検索は、リモート機に対して 5 台単位で実施されます。［文書が見つかったら検索を停止］を選択した場合は、検索中の 5 台の中で文書が見つかると、次の検索動作を停止します。

補足

・［すべての複合機を検索］を選択した場合は、機械の登録台数と［接続タイムアウト時間］によっては、文書の検索に時間がかかることがあります。

ユーザー ID 選択の複合機指定（［ID 選択プリント用ツール］の場合）

［ユーザー ID 選択］画面の初期表示を設定します。

［この複合機］を選択すると、操作中の機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

［この複合機が所属するグループ］を選択すると、［複合機の登録］画面で設定したグループ分けに応じて、グループ内の機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

［第 1 グループ］～［第 10 グループ］のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID の一覧が初期表示されます。

補足

・グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧は取得できません。

ユーザー ID 表示順の初期設定（［ID 選択プリント用ツール］の場合）

［ユーザー ID 選択］画面での表示順を［名前の昇順］、［名前の降順］から選択します。

文書の表示順

文書の表示順を設定します。

参照

・設定例については、「［文書の表示順］/［全文書選択時のプリント順］の設定例」（P.21）を参照してください。

全文書選択時のプリント順

すべての文書を選択したときのプリント順を［［文書の表示順］の設定に従う］、［日時の新しい順］、［日時の古い順］から選択します。

参照

・設定例については、「［文書の表示順］/［全文書選択時のプリント順］の設定例」（P.21）を参照してください。

接続タイムアウト時間

操作中の機械からリモート機に文書のプリントやジョブの削除を指示したり、リモート機から文書の一覧を受信したりするときの、接続の有効時間を設定します。ここで設定した時間以内に接続しないと、指示が無効になります。

補足

・一度に大量の文書をプリント指示した場合や、処理に時間がかかる複雑な文書が含まれる場合、最後のページを受け付ける前にタイムアウトすることがあります。タイムアウトすると、受信したプリントジョブはキャンセルされるので、使用状況を考慮して時間を設定してください。

・機械の登録台数と［接続タイムアウト時間］によっては、文書の受信に時間がかかることがあります。使用状況を考慮して時間を設定してください。

［履歴からプリント］の使用

［履歴からプリント］画面を使うかどうかを設定します。さらにプリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を再利用するかどうかを設定します。

［する］を選択すると、プリントや転送が完了した文書は削除されず、［履歴からプリント］画面から再度プリントできます。

補足

・本設定を［しない］に設定した場合は、蓄積しているジョブをプリント後に削除します。ただし、どこでもプライベートプリントの場合は、お使いのバージョンによって削除しないように設定することもできます。詳しくは、「プリント後に削除の初期設定（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）」（P.17）を参照してください。

プリント後に削除の初期設定（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）

蓄積しているジョブのプリントを実行したときに、そのジョブを削除するかどうかを設定します。本項目は、［［履歴からプリント］の使用］を［しない］に設定した場合のみ有効です。

注記

・リモート機からプリントする機械にジョブが送信された時点でプリントを実行したと判断します。この項目で［削除する］を選択すると、プリントする機械のエラーによってプリントが中止された場合

でも、蓄積されているジョブが削除されます。［削除する］の運用で問題がある場合は、［［履歴からのプリント］の使用］を［する］に設定することをお勧めします。
・ここで［削除しない］に設定しても、この設定項目に対応していない機械では設定が無効になり、［削除する］が適用されます。

エラーの詳細表示

エラーメッセージの表示方法を設定します。

［する］を選択すると、画面全体にポップアップ画面が表示され、エラーの詳細を確認できます。

［しない］を選択すると、画面の上部にエラーの概要だけ表示されます。

文書の表示形式の初期設定

文書一覧の表示方法の初期値を設定します。

文書の検索方式（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）

文書の検索方法を、［認証時の ID で検索］か［すべての ID で検索］から選択します。

［複合機の登録］画面

［複合機の登録］画面では、サーバーレスオンデマンドプリントで使用する機械を一括して設定します。

補足

・複合機は、最大 100 台まで連携できます。100 台まで連携できる機種については、サーバーレスオンデマンドプリントの取扱説明書を参照してください。
・［複合機の登録］画面から設定を削除するときは、削除する行を選択し、画面左下の［複合機の削除］をクリックすることで削除できます。

IP アドレス / ホスト名

IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注記

・IPv6 のアドレスを入力するときは［2001:DB8::1234］のように、IPv6 アドレスを半角の角括弧でくくってください。

SSL

機械で設定した SSL の設定を選択します。［有効］に設定した場合は、操作中の機械からリモート機の文書一覧を取得するときに SSL を使用します。

設定を変更する場合は、この設定だけでなく、機械側の設定も変更してください。

注記

・リモート機からの文書一覧取得等には SSL 通信が利用できますが、プリントデータ転送には SSL を利用することができません。

ポート

使用するポート番号を入力します。ポート番号は、SSL の設定により、以下の値を入力します。

・ SSL 無効時：空文字（変更できません）
・ SSL 有効時：SSL のポート番号

デフォルトポート番号（443）を使用する場合は空文字

補足

・SSL 有効時のポート番号はすべての機械で一致している必要があります。
・ポート番号に空文字以外を入力する場合（デフォルトポート番号以外を使用する場合）は、すべての機械に同じポート番号を設定してください。
・設定情報作成ツール V1.0 で SSL 無効、かつポート番号が［80］ではない機械を設定した設定情報ファイルを最新の設定情報作成ツールで読み込むと、ポート番号は自動的に空文字に変更されます。

グループ（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）

所属するグループを選択します。使用環境にあわせて、機械をグループに分けておくと、特定のグループに所属する機械だけを検索することができ、文書を早く取得できます。

補足

- グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、文書の一覧画面で［すべての複合機］を選択する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- グループ名は変更できます。詳しくは、「[グループ名の変更] 画面」（P.19）を参照してください。

グループ（[ID 選択プリント用ツール] の場合）

所属するグループを選択します。自分が蓄積した文書をグループごとに検索できます。

1 グループには 10 台まで設定できます。

補足

- ID 選択プリントの場合、グループに所属していない機械の情報は検索できません。必ずグループを選択してください。
- グループ名は変更できます。詳しくは、「[グループ名の変更] 画面」（P.19）を参照してください。

シリアル番号

機械のシリアル番号を入力します。

設置場所

設置場所として任意の文字を入力します。全角と半角ともに 255 文字以内で設定できます。

通信優先度

選択した機械が文書を取得するときの優先順位を設定します。

自動設定

［自動設定］を押すと、登録したすべての機械に対して、文書を取得するときの優先順位が自動で設定されます。まず、選択した機械と同じグループの機械が高い優先度に設定され、次に、それ以外のグループの機械とグループ未登録機（[どこでもプライベートプリント用ツール] の場合）の優先度が設定されます。このとき、［複合機の登録］画面で登録した順に優先度が割り当てられます。

［通信優先度の設定］画面

選択した機械が文書を取得するときの優先順位を設定します。

［自動設定］を押すと、登録したすべての機械の通信優先度が自動で設定され、リストが並び替えられます。まず、選択した機械と同じグループの機械が高い優先度に設定され、次に、それ以外のグループの機械とグループ未登録機（［どこでもプライベートプリント用ツール］の場合）の優先度が設定されます。このとき、［複合機の登録］画面で登録した順に優先度が割り当てられます。

補足

- ［どこでもプライベートプリント用ツール］では、操作中の機械の文書の一覧画面で、すべての機械、または特定のグループに蓄積された文書の一覧を表示する場合は、ここで登録された機械（グループの場合は、同グループに設定された機械）を上から 5 台単位で順に接続し、リモート機に蓄積されている文書の一覧を検索します。よって、よく利用するリモート機の優先度を上げて登録することをお勧めします。

［グループ名の変更］画面

［グループ名の変更］画面では、グループの名称を設定できます。グループ名は全角と半角ともに 20 文字以内で設定できます。

補足

・機械の画面上に表示できる文字は全角で 10 文字までです。

設定情報の送信

作成した設定情報を、選択した複合機へ送信する手順について説明します。

注記

・複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンによっては、設定情報を送信できない場合があります。

・お使いのコンピューターと複合機が通信するために以下のポートを使用します。

-SOAP ポート：[複合機の登録] 画面で指定したポート番号

-設定用ポート（どこでもプライベートプリント用ツール）：58051（SSL 無効時）、または 58551（SSL 有効時）

-設定用ポート（ID 選択プリント用ツール）：58052（SSL 無効時）、または 58552（SSL 有効時）

操作手順

1 各設定ツールのメイン画面で［設定情報の送信］をクリックします。

補足

・前回保存した設定情報から変更があった場合は、以下のような画面が表示されます。[はい] をクリックし、変更された設定情報を保存します。保存する手順については、「設定情報ファイルの作成」（P.15）の手順 5 を参照してください。

2 ［設定情報の送信］画面で機械管理者 ID および機械管理者パスワードを入力します。

補足

・「IP アドレス / ホスト名」、「グループ」、「シリアル番号」、および「設置場所」には［複合機の登録］画面の設定内容が表示されます。詳しくは、「［複合機の登録］画面」（P.18）を参照してください。

・［ファイル出力］を押すと、設定内容リスト（zip 形式）を任意の場所に保存できます。保存しておくと、複合機に送信した設定内容を確認することができます。

3 設定情報を送信する複合機にチェックをつけ、［送信］をクリックすると、選択した複合機に設定情報が送信されます。

参照

・設定情報が送信できない場合は、「設定情報を送信できない／送信したが複合機に反映されない」（P.25）を参照してください。

補足

・［すべて選択］をクリックすると表示されているすべての複合機にチェックがつきます。［選択解除］をクリックすると、選択されていた複合機のチェックが外れます。

・「ステータス」には送信の進捗状況が表示されます。送信に成功すると「設定完了」、失敗すると「失敗（失敗原因）」が表示されます。

・設定情報の送信を中止する場合は、［キャンセル］をクリックしてください。ただし、すでに送信が完了している場合はキャンセルすることはできません。

・本ツール上では、送信した設定情報の内容が複合機に反映されているかどうかを確認することはできません。複合機を操作し、設定内容が反映されていることを確認してください。

設定情報の復元

設定済みの情報を複合機から読み出し、設定情報ファイルを復元します。

この機能は、本ツールを使って設定した複合機で利用できます。

設定情報の読み込みを実行すると、まず指定した複合機の設定情報が読み込まれ、その後、読み込んだ設定情報に登録されたすべての複合機の設定情報が読み込まれます。

設定情報は、指定した複合機の情報で復元されます。ただし、指定した複合機の情報だけで復元できない値は、ほかの複合機の情報から復元されます。

ほかの複合機の情報からも復元できなかった場合は、初期値になります。

操作手順

1 サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動します。

補足

・［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、［実行］を押して続行してください。

2 [設定] タブで、[どこでもプライベートプリント]、または [ID 選択プリント] をクリックします。

3 ［ファイル］メニューから［複合機からの設定の読み込み］を選択します。

4 次の操作をします。

(1) 設定情報を読み込む複合機の、機械管理者 ID とパスワード、IP アドレス、SSL の有効 / 無効、およびポート番号を設定します。

ポート番号は、SSL が有効で、デフォルトポート番号（443）以外を使用している場合に入力します。

(2) ［開始］をクリックします。

指定した複合機の設定情報が読み込まれます。
設定情報の読み取りが完了すると、指定した複合機にリモート機として登録されている複合機の一覧が表示されます。
一覧に表示された複合機からも、設定情報が読み込まれます。
読み込まれた設定情報から復元された値が、設定情報作成ツールに反映されます。

5 読み込みが完了したら、［キャンセル］をクリックして画面を閉じます。

注記

・読み込みが完了する前に［キャンセル］をクリックすると、設定情報の読み込みが中断されます。

6 ［ファイル］メニューから［設定情報ファイルの保存］を選択します。

7 設定情報ファイルを保存する場所を指定し、任意のファイル名を入力して保存します。

補足

・設定情報ファイルの種類は「xml」で保存してください。その他の種類で保存すると、正しい設定情報ファイルが作成されません。

［文書の表示順］/［全文書選択時のプリント順］の設定例

［文書の表示順］、および［全文書選択時のプリント順］の設定例を、目的別に説明します。

すべての文書を選択したときに、常に日時の古い順にプリントしたい

冊子を分割してプリント指示し、ページの順番どおりにプリントする場合などは、本ツールで、次のように設定すると便利です。

- ［文書の表示順］：［日時の古い順］
- ［全文書選択時のプリント順］：［日時の古い順］

すべての文書を選択したときのプリント順をよく切り替える

日時の古い順にプリントするか、日時の新しい順にプリントするかをよく切り替える場合は、本ツールで次のように設定しておき、プリントするときに複合機側で［文書の表示順］を変更すると便利です。

- ［文書の表示順］：［日時の新しい順］または［日時の古い順］
- ［全文書選択時のプリント順］：［［文書の表示順］の設定に従う］

アンインストール時の作業

お客様自身で機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、設定情報作成ツールの撤収機能を使用し、機械に保存されている設定を初期化します。

また、他の機械で引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する場合は、それらの機械に対し設定情報を再送信してください。

注記

・サーバーレスオンデマンドプリントのアンインストールは、必ず撤収機能を使用する前に実施してください。

補足

・撤収機能は、設定情報作成ツール V5.0 以降で使用できます。

撤収

サーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした機械に保存されている設定を初期化します。

操作手順

1 **サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動します。**

2 **［撤収］タブをクリックし、［アンインストール時の初期化］のボタンをクリックします。**

3 **［アンインストール時の初期化用ツール］画面の［ファイル］メニューから、［設定情報ファイルの読み込み］を選択します。**

4 **サーバーレスオンデマンドプリントのアンインストール前に作成した設定情報ファイルを選択し、［開く］をクリックします。**

5 **機械管理者 ID および機械管理者パスワードを入力します。**

6 **引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合はチェックを外し、［送信］をクリックします。**

7 **［はい］をクリックします。**
対象の機械が再起動します。

8 **［送信結果］ダイアログが表示されるので結果を確認し、［OK］をクリックします。**

9 **対象の機械の［ステータス］が［撤収済み］になっていることを確認し、［終了］をクリックします。**

補足

・［ステータス］が［失敗（　）］となっている場合は、（　）内の原因を確認し、送信し直してください。

撤収済みの機械の情報を削除した状態で、設定情報ファイルを保存するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

10 **お使いのすべての機械からサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、［いいえ］をクリックしてツールを終了してください。引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合は、［はい］をクリックして設定情報ファイルを保存し、「残りの機械の再設定」（P.23）に進んでください。**

残りの機械の再設定

引き続きサーバーレスオンデマンドプリントを使用する機械がある場合は、それらの機械に対し設定情報を再送信してください。

操作手順

1 各設定ツールのメイン画面を表示するかどうかを確認するダイアログが表示されるので、[はい]をクリックします。

補足

・各設定ツールのメイン画面は、すでに設定情報ファイルが読み込まれた状態で表示されます。

2 必要に応じて、「設定情報ファイルの作成」（P.15）の手順 3 以降を参照して設定を変更し、設定情報ファイルを保存します。

3 「設定情報の送信」（P.20）を参照し、変更した設定情報を機械に送信します。

トラブル対処

本ツールを使用中に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

トラブルが発生した場合は、以下の表で状態を確認してください。

本ツールが起動しない

症状	原因 / 処置
UserTool.exe をダブルクリックしてもサーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールが起動しない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 本ツールに必要な動作条件を満たしていません。 2. 本ツールのファイル構成が壊れています。 【処置】 1 については、動作条件を満たす環境で本ツールを起動してください。 2 については、本ツールを再度ダウンロードして、もう一度サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツールを起動してください。

設定情報ファイルを読み込めない

症状	原因 / 処置
設定情報ファイルを読み込めない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 設定情報ファイルが壊れています。 2. 設定情報ファイルに読み取り権限がありません。 【処置】 1 については、本ツールで設定情報ファイルを作成して、もう一度設定情報ファイルを読み込んでください。 2 については、設定情報ファイルのアクセス権に読み取り権限を設定して、もう一度設定情報ファイルを読み込んでください。

設定情報ファイルを保存できない

症状	原因 / 処置
設定情報ファイルを保存できない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 保存先として指定したフォルダーが存在しません。 2. 保存先のフォルダーまたはファイルの書き込み権限がありません。 【処置】 1 については、設定情報ファイルを保存するフォルダーを作成して、もう一度設定情報ファイルを保存してください。 2 については、別の場所を指定してもう一度設定情報ファイルを保存してください。または、保存先フォルダーまたはファイルのアクセス権に書き込み権限を設定して、もう一度設定情報ファイルを保存してください。

設定情報を送信できない／送信したが複合機に反映されない

症状	原因 / 処置
設定情報を送信できない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 複合機の電源が入っていません。 2. 複合機が使用中です。 3. 本ツール上で設定された機械管理者 ID または機械管理者パスワードが複合機の設定と一致していません。 4. 機械管理者 ID または機械管理者パスワードの最大入力回数を超えたため、複合機へのアクセスが拒否されています。 5. ネットワーク接続設定に誤りがあります。 6. ［複合機の登録］画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。 7. 複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンが送信機能に対応していません。 8. お使いのコンピューターと複合機が通信するために必要なポート番号が使用できません。 【処置】 1 については、機械の電源を入れてください。 2 については、しばらく待ってから再度操作してください。 3 については、本ツールと複合機とで機械管理者 ID または機械管理者パスワードの設定を一致させてください。 4 については、複合機を再起動してください。 5 については、複合機とお使いのコンピューターのネットワーク設定を確認してください。 6 については、SSL またはポート設定を確認してください。 7 については、レポートまたはインターネットサービスに表示されるプラグイン一覧の中に ”ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin” があることを確認してください。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。 8 については、お使いのルーターで、［どこでもプライベートプリント用ツール］をお使いの場合は［58051］または［58551］、［ID 選択プリント用ツール］をお使いの場合は［58052］または［58552］のポート番号が使用できる設定になっていることを確認してください。
設定情報を送信したが、複合機に反映されない。	【原因】 運用しているアプリケーションと異なるツールを使用しています。 【処置】 保存した設定情報ファイルをお使いのアプリケーション用ツールで読み込み、保存し直してから、送信してください。

複合機から設定情報を読み込めない

症状	原因 / 処置
複合機から設定情報を読み込めない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 複合機の電源が入っていません。 2. 複合機が使用中です。 3. 本ツール上で設定された機械管理者 ID または機械管理者パスワードが複合機の設定と一致していません。 4. 機械管理者 ID または機械管理者パスワードの最大入力回数を超えたため、複合機へのアクセスが拒否されています。 5. ネットワーク接続設定に誤りがあります。 6. ［複合機の登録］画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。 7. 複合機にインストールされているサーバーレスオンデマンドプリントのバージョンが、外部から設定情報の取得機能に対応していません。 8. お使いのコンピューターと複合機が通信するために必要なポート番号が使用できません。 【処置】 1 については、機械の電源を入れてください。 2 については、しばらく待ってから再度操作してください。 3 については、本ツールと複合機とで機械管理者 ID または機械管理者パスワードの設定を一致させてください。 4 については、複合機を再起動してください。 5 については、複合機とお使いのコンピューターのネットワーク設定を確認してください。 6 については、SSL またはポート設定を確認してください。 7 については、レポートまたはインターネットサービスに表示されるプラグイン一覧の中に ”ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin” があること、およびバージョンが 1.1.0 以降であることを確認してください。詳しくは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。 8 については、お使いのルーターで、［どこでもプライベートプリント用ツール］をお使いの場合は［58051］または［58551］、［ID 選択プリント用ツール］をお使いの場合は［58052］または［58552］のポート番号が使用できる設定になっていることを確認してください。

本ツールの設定内容を初期化できない

症状	原因 / 処置
本ツールの設定内容を初期化できない。	【原因】 初期設定情報ファイルの読み込みに失敗しました。 【処置】 本ツールを再度ダウンロードして、もう一度設定内容を初期化してください。

4 プリントする

コンピューターからプリントを指示し、機械から本機能を使用してプリントする手順を説明します。

補足

・スマートフォンやタブレット端末からの出力にも対応しています。
- 最新バージョンの Print Utility for iOS, Print Utility for Android が必要です。
- Print Utility for iOS は App Store から、Print Utility for Android は Google Play から無料でダウンロードできます。
- Print Utility の設定については、当社公式サイトをご覧ください。

・mac OS 用標準プリンタードライバーを使用した出力にも対応しています。
- 機種が混在している環境でも利用可能です。

プリンタードライバーの設定

プリントを指示するコンピューターのプリンタードライバーに、機械で認証するための User ID を設定します。

どこでもプライベートプリントでは、この設定が必要です。

ここでの設定は、本機能で設定する蓄積用ユーザー ID に、Windows のログオン ID を利用する場合で、かつ文書に暗証番号を設定する必要がない場合には、不要です。

蓄積用 ID を任意に設定したい場合や暗証番号を設定したい場合は、次の手順にしたがってプリントを指示するコンピューターのプリンタードライバーに、蓄積用ユーザー ID を設定します。

- 対象ドライバー
  - 機種固有ドライバー（ART EX/PostScript）
  - Multi-model Print Driver 2

ここでは、ART EX ドライバーを使用した例で、手順を説明します。

補足

・各種ドライバーのバージョンアップによって、本書に記載している内容が、お客様がお使いのものと異なる場合があります。
・お使いの機械とリモート機の機種が異なるときは、カラー文書のプリント結果が期待どおりにならないことがあります。Multi-model Print Driver 2 を使用してください。

操作手順

1 お使いの PC で［デバイスとプリンター］を表示します。

2 プリンターアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プリンターのプロパティ］を選択します。

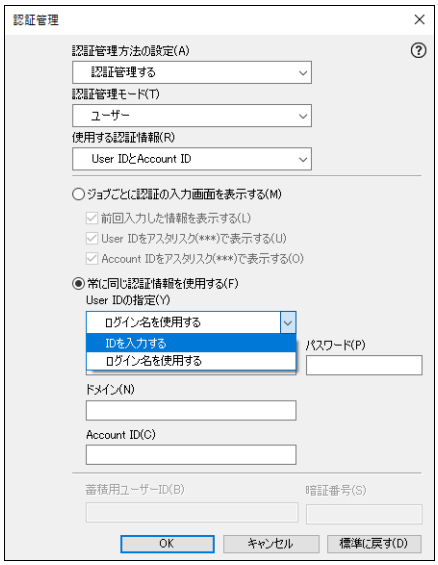
3 ［プリンター構成］タブをクリックします。

4 ［認証設定］をクリックします。

5 次の設定をします。

▶ どこでもプライベートプリントの場合

(1)［常に同じ認証情報を使用する］がチェックされていることを確認し、［User ID の指定］から［ID を入力する］を選択します。



(2) 認証するためのユーザー ID を入力し、［OK］をクリックします。

補足

- 認証するためのパスワードを設定している場合は、パスワードも入力します。
- ［認証方式の設定］で［外部認証］を選択している場合は、［ドメイン］も入力します。
- ［認証方式の設定］で［認証しない］を選択している場合、IC カードリーダーで読み取るカードのユーザー ID と同一のユーザー ID を入力してください。

▶ ID 選択プリントの場合

(1)［使用する認証情報］から［蓄積用ユーザー ID］を選択します。

(2)［常に同じ認証情報を使用する］がチェックされていることを確認し、［蓄積用ユーザー ID］を入力し、［OK］をクリックします。

補足

- 認証するための暗証番号を設定する場合は、暗証番号も入力します。



6 **[OK] をクリックします。**

補足

・ID 選択プリントの場合、暗証番号はプリントする文書ごとに設定の有無を変更できます。
プロパティから都度変更するのが面倒な場合は、2 種類（暗証番号ありとなし）のプリンターアイコンを用意しておくことをお勧めします。



コンピューターからのプリント指示

コンピューターからプリント指示をする手順について説明します。

操作手順

1 **プリントしたい文書を表示します。**

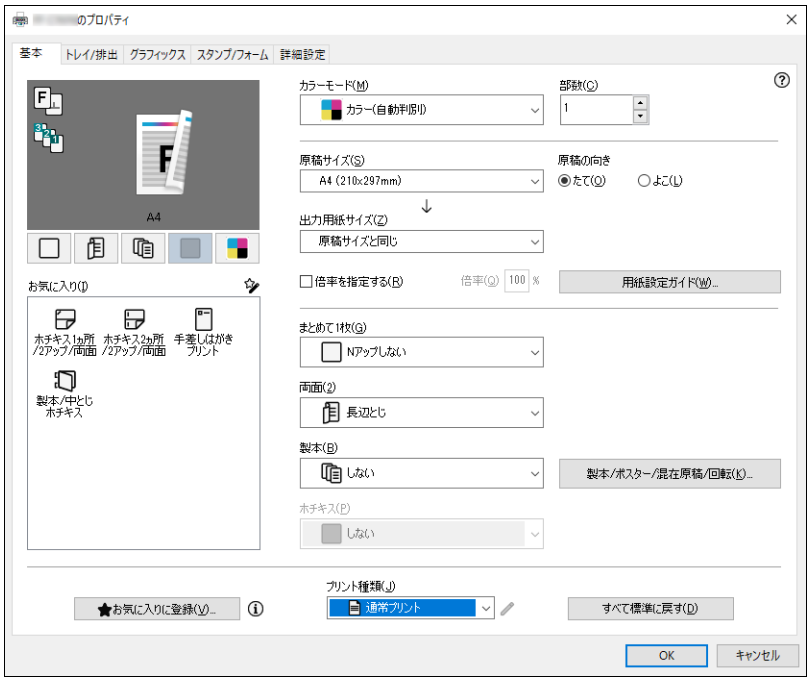
2 **[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。**

補足

・アプリケーションソフトウエアによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。

3 **[プリンター名] でお使いの機械を選択し、[プロパティ] をクリックします。**

4 **[プリント種類] で [通常プリント] を選択し、[OK] をクリックします。**



5 **[OK] をクリックします。**

プリント指示した文書が、お使いの機械に蓄積されます。続いて、機械の前に移動して、蓄積された文書をプリントします。

複合機からのプリント

複合機から文書を選択し、プリントする手順について説明します。

複合機からのプリント（どこでもプライベートプリント）

操作手順

1 表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押して、認証モードに入ります。

補足

・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

2 [どこでもプライベートプリント] を押します。

3 [どこでもプライベートプリント] 画面からプリントする文書を選択します。

4 プリントをスタートします。

注記

・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできないことがあります。

・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。

補足

・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

5 [閉じる] を押します。

6 認証を解除します。

複合機からのプリント（ID 選択プリント）

操作手順

1 [ID 選択プリント] を押します。

2 [ユーザー ID 選択] 画面からユーザー ID を選択します。

補足

・プリンタードライバーで蓄積用ユーザー ID を指定しなかった場合は、[(ユーザー ID なし)] に蓄積されます。

・グループ未登録機に蓄積されている文書の情報は取得できません。

3 暗証番号ありの文書のみが蓄積されているユーザー ID を選択した場合は、[暗証番号入力] 画面が表示されます。暗証番号を入力し、[OK] を押します。

補足

・すべての文書が暗証番号なしの場合や、暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合は、上記画面は表示されません。

4 [ID 選択プリント] 画面から、プリントする文書を選択します。

補足

・手順 3 で暗証番号を入力した場合は、その暗証番号に合致した文書が一覧で表示されます。

・暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合は、暗証番号なしの文書が初期表示され、画面上部に [暗証番号の入力] ボタンが表示されます。
この場合の詳しい操作については、「暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合（ID 選択プリント対象）」（P.32）を参照してください。

5 **プリントをスタートします。**

注記

・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできないことがあります。

・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。

補足

・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

6 **［閉じる］を押します。**

［どこでもプライベートプリント］画面 / ［ID 選択プリント］画面



管理者設定

管理者権限のある認証ユーザーの場合は、画面左部の〉を押し、［管理メニュー］を押すと、管理者設定画面が表示されます。

参照

・管理者設定画面については、「サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定」（P.8）を参照してください。

補足

・［管理メニュー］は、管理者権限のある認証ユーザーがログインした場合に表示されます。

複合機の指定（プライベートプリント対象）

一覧に表示したい文書が蓄積された複合機を指定します。

［この複合機］を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。［すべての複合機］を選択すると、お使いの機械とリモート機に蓄積されているすべての文書が一覧で表示されます。［第 1 グループ］～［第 10 グループ］のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書が一覧で表示されます。

補足

・グループ未登録機に蓄積されている文書の一覧を取得するには、［すべての複合機］を指定する必要があります。そのため、機械の登録台数によっては、文書の一覧が表示されるまでに時間がかかることがあります。

文書の表示順設定

文書の一覧を表示する順番を設定します。

文書一覧

各文書の文書名、蓄積日時、ページ数、部数、仕上がりイメージが表示されます。

を押すと、印刷設定の変更や、先頭ページのプレビュー、文書の削除ができます。

補足

- PostScript プリンタードライバーからプリントを指示した場合、[まとめて 1 枚] を設定すると、用紙の向きや画像の配置が、仕上がりイメージアイコンに正しく反映されないことがあります。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていても、原稿に合わせて、正しくプリントします。
- Multi-model Print Driver 2 からプリントを指示した場合、仕上がりイメージアイコンに、[パンチ] の設定は反映されません。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていても、プリンタードライバーで設定したとおり、パンチ穴を開けてプリントします。
- 文書のプリント設定によっては、仕上がりイメージアイコンの左端に、次のアイコンが表示される場合があります。対応していない設定の詳細は、「プリント設定の変更」(P.34) で確認できます。
  - アイコン（制限付きでプリントできる文書）
    お使いの機械は、このアイコンが付いている文書のプリント設定に対応していません。
  - アイコン（プリントできない文書）
    お使いの機械は、このアイコンが付いている文書をプリントできません。

参照

- プリント設定の変更方法については、「プリント設定の変更」(P.34) を参照してください。

[ユーザー ID 選択] 画面（ID 選択プリント対象）

(複合機の指定)

[この複合機] を選択すると、お使いの機械に蓄積されている文書のユーザー ID が一覧表示されます。

[第 1 グループ] ～ [第 10 グループ] のいずれかを選択すると、該当グループの機械に蓄積されている文書のユーザー ID が一覧表示されます。

検索

検索するユーザー ID（一部可）を入力し、[決定] を押します。全ユーザー ID の表示に戻す場合は、再度 [検索] を押して、指定した文字列をクリアしてください。

(表示順)

ユーザー ID の一覧を表示する順番を表示します。

暗証番号あり / なし文書が混在して蓄積されている場合（ID 選択プリント対象）

[ID 選択プリント] 画面の [暗証番号の入力] ボタンと [暗証番号なし文書の表示] ボタンで、表示文書を切り替えることができます。

- 暗証番号の入力

  [暗証番号の入力] は、暗証番号なしの文書が表示されているときに表示されます。

  文書の暗証番号を入力し、[OK] を押します。入力した暗証番号と合致する文書が一覧で表示されます。

  補足

  - 別の暗証番号の文書を表示したい場合には、[暗証番号なし文書の表示] を押して暗証番号なし文書の一覧を表示したあと、再度 [暗証番号の入力] を押して、別の暗証番号を入力します。

- 暗証番号なし文書の表示

  [暗証番号なし文書の表示] は、暗証番号ありの文書が表示されているときに表示されます。

  このボタンを押すと、機械に蓄積された暗証番号なしの文書が一覧で表示されます。

一括で文書をプリントする場合（どこでもプライベートプリント対象）

認証ユーザーがプライベートプリントとして蓄積している、まだプリントしていない文書を、一度にプリントできます。

一度にプリントできる文書は、日時の新しい順または古い順から 1 台あたり 99、最大で 495（自機を含むすべての親機）です。

操作手順

1 **表示されるキーボードを使って、User ID を入力し、[確定] を押して、認証モードに入ります。**

補足

・IC カードを使用している場合は、IC カードを IC カードリーダーにかざして、認証モードに入ります。

2 **[どこでもプライベートプリント（一括出力)] を押します。**



補足

・通信できない親機がある場合、プリント時に通信できなかった機器の IP アドレスを表示します。
・正常にプリントされた文書は複合機から削除されません。
・削除するには、文書が蓄積されている機器のプライベートプリントで選択 / 削除を行ってください。または、蓄積文書を一定時間で削除する設定を行ってください。
・カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできません。

3 **[閉じる] を押します。**

プリントの中止

操作手順

1 **画面左下の ⏸ を押します。**

2 **[中止] を押します。**

補足

・文書の一覧で、複数の文書を選択してプリントを開始した場合、プリントを中止すると、中止した文書が一覧に表示されないことがあります。しばらく待ってから [更新] を押すと、文書が表示されます。

プリント設定の変更

コンピューターで指示したプリントの設定内容を変更する手順について説明します。

補足

・プリント設定を変更すると、文書の一覧で他の文書を選択している場合、それらの文書の選択は解除されます。

操作手順

1 プリントの設定内容を変更したい文書を選択し、⋮ > ［設定変更］を押します。

2 任意の項目を設定します。

補足

・カラープリントが禁止されたユーザーが、カラープリント文書を選択した場合、「[カラーモード] の設定を変更してください」と表示され、プリントできません。[カラーモード] で、プリント可能なカラーモードに変更すると、プリントできます。

3 プリントをスタートします。

注記

・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

4 ［閉じる］を押します。

［設定変更］画面

プリント部数

部数を変更できます。

カラーモード

カラー文書を選択した場合、選択できます。

補足

・お使いの機械がモノクロ機の場合、または白黒文書の場合は、設定できません。

両面プリント

補足

・文書が 1 ページの場合は、両面に変更できません。

まとめて 1 枚

この項目は変更できません。

ホチキス、パンチ

ホチキスやパンチの設定を変更できます。

補足

・一部の対応機種でフィニッシャーが装着されている場合のみ、この項目を設定できます。
・文書を蓄積した複合機と、プリントする複合機の両方で対応している必要があります。
・サイズ混在原稿や製本の指定など複雑な設定がされているジョブの場合は、この項目を変更できないことがあります。
・弊社 Multi-model Print Driver 2 からプリントを指示した場合、仕上がりイメージアイコンに、[製本] の設定は反映されません。このとき、仕上がりイメージアイコンは異なっていても、プリンタードライバーで設定したとおりの製本でプリントします。

プリント済み文書の再利用

［履歴からプリント］画面から、プリント済みの文書や転送中 / 転送済みの文書を選択し、プリントする手順について説明します。

補足

・［履歴からプリント］画面は、管理者設定画面の［［履歴からプリント］の使用］で、［する］を選択しているときだけ表示できます。

操作手順

1 **［履歴からプリント］を押します。**

2 **［履歴からプリント］画面で、プリントする文書を選択します。**

参照

・［履歴からプリント］画面で表示される項目は、［どこでもプライベートプリント］または［ID 選択プリント］画面と同じです。詳しくは、「複合機からのプリント」（P.30）を参照してください。

3 **プリントをスタートします。**

注記

・プリント指示の受け付けが完了するまでしばらくお待ちください。受け付けが完了する前にほかの操作を行うと、プリントできない場合があります。

・異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。

補足

・複数の文書を選択した場合、カラープリントの禁止などの理由により、プリントできる文書とプリントできない文書が混在していると、プリントできる文書のみプリントされます。

4 **［閉じる］を押します。**

5 トラブル対処

お使いの機械に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。トラブルが発生した場合は、以下の表で状態を確認してください。

本機能が起動しない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
[どこでもプライベートプリント] ボタンを押しても、[どこでもプライベートプリント] 画面が表示されない。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「機械管理者に連絡してください。セットアップが完了していません。機械管理者の権限でどこでもプライベートプリントの画面を開いてください。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 機械管理者の権限で［どこでもプライベートプリント］を起動し、本表内の ---------- ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行] を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。 ---------- を参照してください。
ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行] を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 ［実行］を押してください。セットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。 どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [アプリを終了する] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずにメニュー画面に戻る場合は［アプリを終了する］を押してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があります。」や「認証に失敗しました。」が表示されている。	【原因】 お使いの機械とリモート機の［秘密情報の暗号化キー］、および［IP 動作モード］が一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機の［秘密情報の暗号化キー］、および［IP 動作モード］が同じになるように設定してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
[ID 選択プリント] ボタンを押しても、[ID 選択プリント] 画面が表示されない。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面に自身のユーザー ID が表示されない	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 文書の蓄積が完了していません。 2. 複合機の指定が正しくありません。 3. ジョブを送信した複合機がどのグループにも所属していません。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、リモート機の [ジョブ確認] 画面で文書の状態を確認してください。 2. については、[ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面の [複合機の指定] でジョブを送信した複合機が所属するグループを指定してください。 3. については、ジョブを送信した複合機にグループを設定してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があります。ユーザー ID の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。
ディスプレイに「一致するユーザー ID はありませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. [ユーザー ID 選択 - ID 選択プリント] 画面の [検索] で入力された文字が含まれる、ユーザー ID が見つかりません。 2. 文書の蓄積が完了していません。 【処置】 1. については、入力した検索文字が正しいか確認してください。 2. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、リモート機の [ジョブ確認] 画面で文書の状態を確認してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「認証ユーザーはこの機能を使用できません。」と表示されている。	【原因】 ID 選択プリントは、[認証方式の設定] で [認証しない] 以外に設定している場合や、IC カードを使用している場合は利用できません。 【処置】 サーバーレスオンデマンドプリントキットに同梱されている、「どこでもプライベートプリント」を使用してください。
ディスプレイに「セットアップを実行します。[実行] を押すとセットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。再起動すると蓄積している文書はすべて削除されます。」と表示されている。	【原因】 本機能のセットアップが完了していません。 【処置】 [実行] を押してください。セットアップを開始し、終了後に本体を再起動します。
ディスプレイに 「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。 ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [アプリを終了する] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている [はい（再起動する)] を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずにメニュー画面に戻る場合は [アプリを終了する] を押してください。

文書が表示されない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、すべてのリモート機の電源が入った状態で [接続テスト] を行ってください。 それでもエラーが発生する場合は、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「認証に失敗しました。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 2. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 2. 本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があります。 プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 リモート機の電源が入っているか、確認してください。電源が入っている場合は、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「複合機の設定時刻が一致しないため、プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 時刻の設定が、お使いの機械とリモート機とで一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機とで、時刻の設定を一致させてください。
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。	【原因】 お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに 「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。 文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。 ---------- を参照してください。
上記以外で、蓄積されている文書の一部が、文書一覧に表示されない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 2. お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 3. ［文書が見つかったら停止］を指定して複数のジョブを検索したため、最初の文書を見つけたあと検索動作が停止しました。 【処置】 1. と 2. については、文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すると、残りの文書が表示されます。 3. については、管理者設定画面の［文書の検索動作］を［すべての複合機を検索］に設定してジョブを検索してください。ジョブの検索に時間がかかる場合は、よく利用するリモート機からグループを設定するなど、使用状況を考慮してグループを設定してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。 どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [いいえ] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機との HTTP 通信時にエラーが発生しました。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 4. お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードとで一致していません。 【処置】 1. については、お使いの機械とリモート機の SSL 設定とポート設定が一致していることを確認してください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、接続タイムアウト時間を長くしてください。 4. については、お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、及び IP 動作モードが同じになるように設定してください。
ディスプレイに「認証に失敗しました。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」 と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ·機械管理者 ID ·機械管理者パスワード 2. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 2. 本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があります。 プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 リモート機の電源が入っているか、確認してください。電源が入っている場合は、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「複合機の設定時刻が一致しないため、プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。 複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 時刻の設定が、お使いの機械とリモート機とで一致していません。 【処置】 お使いの機械とリモート機とで、時刻の設定を一致させてください。
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。	【原因】 お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すれば残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。 文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」 と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため文書の情報を表示できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。	「通信できない複合機があるため情報を取得できませんでした。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「通信できない複合機があります。プリント可能な文書の情報を取得できませんでした。」と表示されている。 ---------- を参照してください。 「文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」については、本表内の ---------- ディスプレイに「この複合機または、ほかの複合機にプリント可能な文書が大量に存在するため 495 文書まで表示します。」と表示されている。 ---------- を参照してください。
上記以外で、蓄積されている文書の一部が、文書一覧に表示されない。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. お使いの機械または検索したリモート機に蓄積されているジョブの数が 99 件を超えています。 2. お客様のジョブを検索した結果、取得したジョブの数が 495 件を超えました。 【処置】 1. と 2. については、文書をプリントして、蓄積されている文書の数を減らしてください。プリント後に再度リストを表示すると、残りの文書が表示されます。
ディスプレイに「暗証番号が正しくありません。もう一度入力しなおして、[OK] を押してください。」と表示されている。	【原因】 [暗証番号入力] 画面で入力した、暗証番号が正しくありません。 【処置】 [暗証番号入力] 画面で、正しい暗証番号を入力し、[OK] を押します。
ディスプレイに 「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。 ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する）] [いいえ] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する）］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。

プリントできない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に⚠アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、文書のプリント言語に対応していません。 【処置】 文書のプリント言語に対応している機械から、もう一度プリントを実行してください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「プリントを開始できません。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「プリント開始できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書をプリントできませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、機械の設定が正しくない可能性があります。弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「指定した文書はありません。」と表示されている。	【原因】 指定した文書は、すでにプリント実行されたか、削除されました。 【処置】 [ジョブ確認] 画面で、文書の状態を確認してください。
ディスプレイに「プリントしたい文書を選択してスタートしてください。」と表示されている。	【原因】 文書を選択せずに、プリントをスタートしています。 【処置】 プリントする文書を 1 つ以上選択してから、プリントをスタートしてください。
ディスプレイに「あなたはカラー文書のプリントが禁止されています。[カラーモード] の設定を変更してください。」と表示されている。	【原因】 お客様はカラープリントが禁止されているため、カラー文書はプリントできません。 【処置】 プリント設定の変更画面で、[カラーモード] を、プリント可能なカラーモードに変更してください。
ディスプレイに「ジョブの実行中またはデータ受信中にその操作はできません。操作待ちや異常停止中ジョブがあれば対処する必要があります。[ジョブ確認] 画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 ジョブの実行中、またはデータの受信中のため、本機能のセットアップが実行できません。 【処置】 実行中のジョブ、またはデータの受信が終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。
ディスプレイに「文書のプリントを中止しました。同時に処理できるジョブ数を超えています。実行中のジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。このエラーが続けて表示される場合は、操作待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械が同時に処理できるジョブの数を超えました。 【処置】 実行中のジョブが終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを [ジョブ確認] 画面で確認してください。
お使いの機械からリモート機のジョブをプリント指示したが、しばらくしてもプリントが開始されない。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除して、もう一度プリント指示を行ってください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。 どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [いいえ] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。
ディスプレイに「選択されている文書はこの複合機ではプリントできません。」と表示されている。	【原因】 選択した文書は、上記以外の何らかの理由でプリントできません。 【処置】 他の機械から、再度プリントを実行してください。それでもプリントできない場合は、お使いの機械でプリントできない文書ですので、ジョブを削除してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に⚠アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、文書のプリント言語に対応していません。 【処置】 文書のプリント言語に対応している機械から、もう一度プリントを実行してください。
ディスプレイに「プリントを開始できません。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「プリント開始できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書をプリントできませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。 それでも状態が改善されないときは、機械の設定が正しくない可能性があります。弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「指定した文書はありません。」と表示されている。	【原因】 指定した文書は、すでにプリント実行されたか、削除されました。 【処置】 ［ジョブ確認］画面で、文書の状態を確認してください。
ディスプレイに「プリントしたい文書を選択してスタートしてください。」と表示されている。	【原因】 文書を選択せずに、プリントをスタートしています。 【処置】 プリントする文書を 1 つ以上選択してから、プリントをスタートしてください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「あなたはカラー文書のプリントが禁止されています。[カラーモード]の設定を変更してください。」と表示されている。	【原因】 お客様はカラープリントが禁止されているため、カラー文書はプリントできません。 【処置】 プリント設定の変更画面で、[カラーモード]を、プリント可能なカラーモードに変更してください。
ディスプレイに「ジョブの実行中またはデータ受信中にその操作はできません。操作待ちや異常停止中ジョブがあれば対処する必要があります。[ジョブ確認]画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 ジョブの実行中、またはデータの受信中のため、本機能のセットアップが実行できません。 【処置】 実行中のジョブ、またはデータの受信が終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを[ジョブ確認]画面で確認してください。
ディスプレイに「文書のプリントを中止しました。同時に処理できるジョブ数を超えています。実行中のジョブが終了するのを待って、もう一度操作してください。このエラーが続けて表示される場合は、操作待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを[ジョブ確認]画面で確認してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械が同時に処理できるジョブの数を超えました。 【処置】 実行中のジョブが終了してから、もう一度操作してください。それでも状態が改善されないときは、実行待ちや異常停止中のジョブがあるかどうかを[ジョブ確認]画面で確認してください。
お使いの機械からリモート機のジョブをプリント指示したが、しばらくしてもプリントが開始されない。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除して、もう一度プリント指示を行ってください。
ディスプレイに「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 プリント指示したジョブを蓄積しているリモート機でエラーが発生しました。 【処置】 リモート機のエラーを解除してから、プリント指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。 ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)]［いいえ］ 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。
ディスプレイに「選択されている文書はこの複合機ではプリントできません。」と表示されている。	【原因】 選択した文書は、上記以外の何らかの理由でプリントできません。 【処置】 他の機械から、再度プリントを実行してください。それでもプリントできない場合は、お使いの機械でプリントできない文書ですので、ジョブを削除してください。

思ったとおりのプリント結果にならない

症状	原因 / 処置
プリントしたい文書に(!)アイコンが付いている。	【原因】 出力しようとした機械が、指定した文書のプリント設定に対応していません。 【処置】 指定した文書のプリント設定に対応している機械から、再度プリントを実行してください。 詳しくは、「文書一覧」（P.32）の補足を参照してください。

文書が削除できない

どこでもプライベートプリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「削除できなかった文書があります。 削除できなかった文書数：XXX/XXX」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 2. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 2. については、もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「文書を削除できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
ディスプレイに「複合機と通信できなかったため、文書を削除できませんでした。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 削除指示したジョブを蓄積しているリモート機が、機械管理者モードになっているか、またはエラーが発生しています。 【処置】 リモート機の認証、またはエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「機械内部に異常が発生しました。カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「どこでもプライベートプリントに必要な情報を取得できませんでした。どこでもプライベートプリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [いいえ] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。

ID 選択プリントの場合

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「削除できなかった文書があります。 削除できなかった文書数：XXX/XXX」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 2. 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 1. については、しばらく待ってから、もう一度操作してください。 2. については、もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。
ディスプレイに「文書を削除できません。この文書は処理中です。しばらく待ってから、もう一度操作してください。」と表示されている。	【原因】 処理中の文書を指定したため、文書を削除できませんでした。 【処置】 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
ディスプレイに「複合機と通信できなかったため、文書を削除できませんでした。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス：XXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 接続タイムアウト時間内にリモート機に接続できませんでした。 【処置】 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、接続タイムアウト時間を長くしてください。

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「選択した文書が蓄積された複合機で異常が発生しました。機械管理者に連絡してください。複合機のアドレスは以下のとおりです。 アドレス： XXXXXXXXXXXXXXXXXXX」と表示されている。	【原因】 削除指示したジョブを蓄積しているリモート機が、機械管理者モードになっているか、またはエラーが発生しています。 【処置】 リモート機の認証、またはエラーを解除してから、文書の削除指示をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「機械内部に異常が発生しました。カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」と表示されている。	【原因】 お使いの機械内部でエラーが発生しました。 【処置】 お使いの機械の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。再度文書の削除指示をしても状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
ディスプレイに「ID 選択プリントに必要な情報を取得できませんでした。ID 選択プリントを再起動します。よろしいですか？ [はい（再起動する)] [いいえ] 何度も続くときは、カストマーコンタクトセンターに連絡してください。」 と表示されている。	【原因】 本機能の情報取得に失敗しました。 【処置】 本機能を再起動してください。すぐ再起動する場合は、操作パネルのディスプレイに表示されている［はい（再起動する)］を押してください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。再起動せずに元の画面に戻る場合は［いいえ］を押してください。

環境設定が変更できない

症状	原因 / 処置
ディスプレイに「設定を変更できませんでした。もう一度 [OK] を押してください。」と表示されている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. 設定内容が正しくないため、変更できませんでした。 2. 機械内部でエラーが発生しました。 3. お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定が一致していません。 【処置】 1. については、設定内容が正しいか確認してください。 2. については、しばらく待ってから、もう一度操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。 3. については、お使いの機械とリモート機とで SSL 設定とポート設定を一致させてください。
ディスプレイに「重複したアドレスがあります。入力されたアドレスはクリアされます。」と表示されている。	【原因】 [複合機の登録] 画面の［IP アドレス / ホスト名］で、他の機械と重複した IP アドレスを入力しています。 【処置】 IP アドレスを確認してください。
ディスプレイに「選択されたグループには登録できません。1 つのグループに登録できる複合機は 10 台までです。」と表示され、グループ設定が「-」に変更される。	【原因】 [複合機の登録] 画面で、1 つのグループに 11 台以上の機械を登録しようとしました。 【処置】 1 つのグループに登録する機械は 10 台以下にしてください。

接続テストに失敗する機械が存在する

症状	原因 / 処置
接続テストに失敗した。 接続テストに失敗した機械に⚠アイコンが付いている。	【原因】 次の原因が考えられます。 1. リモート機の電源が入っていません。 2. 以下の設定がお使いの機械とリモート機とで一致していません。 ・時刻 ・機械管理者 ID ・機械管理者パスワード 3. ネットワーク接続設定に誤りがあるか、ネットワークケーブルが物理的に接続されていません。 4. ［複合機の登録］画面の SSL またはポート設定に誤りがあります。 5. リモート機が旧機種のため接続できませんでした。 【処置】 1. については、機械の電源を入れてください。 2. については、お使いの機械とリモート機とで上記の設定をすべて一致させてください。 3. については、ネットワーク設定とネットワークケーブルの接続状態を確認してください。 4. については、SSL とポート設定を確認してください。 5. については、本体の設定を旧機種互換モードに設定してください。

コンテンツ情報の確認

本機能のコンテンツのバージョン情報を確認できます。また、お問い合わせ時に、本機能のコンテンツ情報が必要な場合があります。次の手順に従って、コンテンツ情報を確認してください。

操作手順

1 プリントする文書を選択する画面で、画面左部の ⚙ 〉 を押し、［バージョン情報］を押します。

2 コンテンツ情報を確認します。

補足

・ピリオドで区切られた 3 桁の数値のうち、左 2 桁がバージョン情報です。

3 ［閉じる］を押します。

6 バージョンアップについて

複合機追加型アプリケーション更新を使用することで本アプリケーションをバージョンアップ（アップデート）できます。

複合機追加型アプリケーション更新によるバージョンアップ

複合機追加型アプリケーション更新の利用方法は、複合機の取扱説明書、または複合機追加型アプリケーション更新の取扱説明書をご覧ください。

注記

・複合機追加型アプリケーション更新の手動更新画面からバージョンアップを行う場合、必ず次のアプリケーションを選択（1 つしか表示されない場合は、表示されたアプリケーションを選択）して、バージョンアップしてください。
- どこでもプライベートプリント
- ID 選択プリント
- どこでもプライベートプリント (一括出力)

7 注意 / 制限事項について

本機能を使用するうえでの注意 / 制限

機械の使用上の注意 / 制限

- 本機能を利用する場合、機械のウォームアップ時間が通常よりも数秒長くかかります。
- お使いの機械とリモート機の初期表示言語を一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の認証方式の設定を一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の機械管理者 ID と機械管理者パスワードを一致させてください。
- お使いの機械とリモート機の時刻を一致させてください。設定された時刻に差があると、文書の一覧を正しく取得できない場合があります。時刻サーバー（NTP:Network Time Protocol）と同期すると、お使いの機械とリモート機の時刻を一致させることができます。時刻サーバーとの同期の設定のしかたは、お使いの機械のマニュアルを参照してください。
- お使いの機械とリモート機の秘密情報の暗号化キー、および IP 動作モードが同じになるように設定してください。
- セカンダリーネットワーク（オプション）を使用できる機械をお使いの場合、本機能を使用するときは、本機およびリモート機の IP アドレスには、プライマリーネットワークのアドレスを設定してください。
- 本機能は、セキュリティプリント機能との併用はできません。
- お使いの機械およびリモート機から、お客様自身がサーバーレスオンデマンドプリントをアンインストールした場合は、設定情報作成ツールの撤収機能による再設定が必要です。詳しくは、『サーバーレスオンデマンドプリント設定情報作成ツール取扱説明書』を参照してください。
- どこでもプライベートプリントを外部認証で運用している場合、ユーザー ID に ASCII 以外の文字を使用していると、文書の一覧が正しく取得できないことがあります。

プリント機能の使用上の注意 / 制限

- 本機能では、複数の文書を一度にプリントする場合でも、ジョブが 1 件ごとに送信されるため、通常と比べてプリントに時間がかかることがあります。

  また、複数の文書をプリント中にファクスを受信した場合は、実行中のプリントの合間にファクス文書をプリントします。ファクス文書の割り込みをさせない場合は、設定を変更してください。
- 文書のプリント中、および削除中に、自動リセットされてジョブが途中で中止されてしまうことがあります。

  その場合は、［設定］画面の［システム設定］＞［システム時計 / タイマー設定］＞［自動リセット］で、リセットされるまでの時間を長くするか、または［しない］を選択してください。
- プリント中のジョブは、リモート機でも、［ジョブ情報］画面の［実行中 / 待ち］タブから通常のジョブと同じ方法で処理できます。リモート機でプリント中のジョブを削除したり、キャンセルしたりしないようにご注意ください。
- 複数の機械から同時にプリント指示を行うと、プリントが開始されるまでに時間がかかることがあります。
- 異なる機械に蓄積されている文書を一度にプリント指示した場合、タッチパネルディスプレイに表示された順序とは異なる順序でプリントされることがあります。
- 本機能を利用する場合、割り込みはできません。

- バナーシートをプリントするように設定されている場合、本機能利用時でもバナーシートはプリントされます。
- 本機能を利用して出力された文書は、ジョブ履歴レポートで、「外部アクセスプリント」と記載されます。
- どこでもプライベートプリントでは、［プリント後に削除の初期設定］は利用できません。プリントや転送が完了した文書を削除するかどうかの設定については、「［履歴からプリント］の使用」（P.10）を参照してください。
- A3 複合機と A4 複合機の混在環境において、A4 より大きなサイズを出力する場合は、以下の点にご注意ください
  - A3 機に蓄積されたプリントジョブを A4 機で出力する場合、⚠アイコンを表示し、A4 サイズで印字されることを注意喚起します。A4 より大きなサイズの場合は、A4 に縮小されて印字されます。
  - A4 機に蓄積された A4 より大きなサイズを A4 機で出力する場合、A4 に縮小されて印字されますが、⚠アイコンを表示しません。
  - 用紙サイズが指定されている場合などでは、ジョブがキャンセルされる場合があります。
- 本アプリケーションは、設定情報作成ツールと通信するために、SSL を使用する場合は 58552 番ポートを、SSL を使用しない場合は 58052 番を使用します。
- プライベートプリントと、どこでもプライベートプリントを併用している場合は以下にご注意ください。
  - ジョブを蓄積している機械でプライベートプリントを実行し、同時にリモート機でプリントしようとすると、ジョブの転送に時間がかかることがあります。
  - プライベートプリントで出力指示をした文書が出力中であっても、同一文書に対してどこでもプライベートプリントからも出力指示が行えます。これにより同一文書が複数出力される場合がありますのでご注意ください。
- 課金認証プリントと、ID 選択プリントを併用している場合、ジョブを蓄積している機械で課金認証プリントを実行し、同時にリモート機でプリントしようとすると、ジョブの転送に時間がかかることがあります。
- 一部の機種では、インターネットサービスの［プロパティ］＞［セキュリティ］＞［SSL/TLS 設定］＞［IPP］＞［SSL/TLS 通信のみ有効］にチェックを入れることで、IPP プロトコル利用時に SSL 通信のみを利用できます。
  その場合は、リモート機とお使いの機械の両方で SSL の設定を有効にしてください。
  設定が有効でない場合は、プリント時にリモート機でエラーが発生します。

Universal Print 利用時の注意 / 制限事項

- サーバーレスオンデマンドプリントからUniversal Print出力に対応した機械に蓄積したジョブは、リモート機から出力できます。
- リモート機が、サーバーレスオンデマンドプリントからの Universal Print 出力に対応していない場合、意図した出力結果にならないことがあります。
- Universal Print を利用するためには次の設定が必要です。

▶ どこでもプライベートプリントの場合

- お使いの機械とリモート機の認証方式の設定は、［Microsoft Entra ID］で一致させてください。
- Microsoft Entra ID で設定するテナントは、お使いの機械とリモート機で一致させてください。
- Internet Services の［ネットワーク設定］＞［モバイルプリント設定］＞［Universal Print］を［有効］にし、［プリンター登録］で表示されているプリンターを登録してください。Internet Services については、InternetService のヘルプを参照してください。

▶ ID 選択プリントの場合

- ジョブを出力する場合、[ID 選択プリント] で [(ユーザーID なし)] を選択してください。

ジョブの表示件数について

- 蓄積されたジョブは、[どこでもプライベートプリント] 画面、[ID 選択プリント] 画面、[履歴からプリント] 画面のそれぞれの画面で、機械一台につき 99 件まで表示できます。いずれかの機械で、ジョブの数が 99 件を超えている場合、その機械の 100 件目以降のジョブは表示されません。

  補足

  ・[履歴からプリント] 画面は、管理者設定画面の [[履歴からプリント] の使用] で [する] を選択しているときだけ表示できます。

- 取得したジョブが 495 件を超えた場合、496 件目以降のジョブは表示されません。

  補足

  ・[文書の表示順] での設定によって、表示される文書は異なります。

本機の認証モードを変更した場合の注意 / 制限

サーバーレスオンデマンドプリントには、次の 2 種類があります。

- どこでもプライベートプリント：本体認証、外部認証、認証しないモードで IC カードをお使いの場合
- ID 選択プリント：認証しないモードで IC カードも利用していない場合

本機の認証モードを変更した場合は、使用するアプリケーションを変更する必要があります。

次の手順に従って、画面上の機能ボタンと、実行するプラグインを変更してください。

機能ボタンの変更

本機の認証モードに合わせて、[どこでもプライベートプリント] と [ID 選択プリント] のメニュー表示を変更する手順を説明します。

補足

・サーバレスオンデマンドプリントをインストールすると、認証モードにかかわらず初期状態では、[どこでもプライベートプリント] と [ID 選択プリント] の両方が表示されます。

操作手順

1 複合機の操作パネルから、機械管理者モードに入ります。

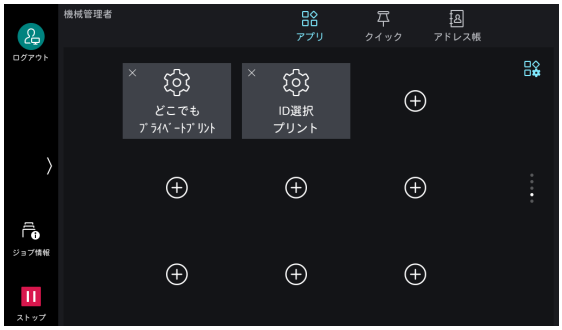
補足

・機械管理者のログイン方法については、複合機のマニュアルをご覧ください。

2 複合機のアプリ画面で  を押します。

[どこでもプライベートプリント] または [ID 選択プリント] を非表示にする場合

3 非表示にしたい機能ボタンの [×] を押します。



［どこでもプライベートプリント］または［ID 選択プリント］を表示する場合

3 ［+］を押します。



4 表示したい機能ボタンを選択します。

5 表示位置を変更したい機能ボタンを長押しして、任意の位置に表示位置を変更し、 を押します。

プラグインの変更

使用するプラグインの変更は、インターネットサービスで行います。

操作手順

1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。インターネットサービスが起動されます。

3 機械管理者モードに入ります。

4 ［システム］＞［システム設定］の［プラグイン設定］をクリックし、本機にインストールされているプラグインの一覧を表示します。
各アプリケーションのプラグイン名は、以下のとおりです。

アプリケーション	プラグイン名
どこでもプライベートプリント	ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin
ID 選択プリント	ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth

5 次の操作をします。

▶ どこでもプライベートプリントの場合

(1) ［ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin］を選択し、［停止］をクリックします。

▶ ID 選択プリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth] を選択し、[停止] をクリックします。

6 **機械を再起動します。**
設定した値が反映されます。

7 **再起動したら、機械管理者モードに入り、手順 4 と同様の操作で［プラグイン設定］画面を表示します。**

8 **次の操作をします。**

▶ どこでもプライベートプリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPlugin] を選択し、[開始] をクリックします。

▶ ID 選択プリントの場合

(1) [ServerlessOnDemandPrintSettingPluginNoAuth] を選択し、[開始] をクリックします。

9 **機械を再起動します。**
設定した値が反映されます。

本書の「使用環境の設定」>「サーバーレスオンデマンドプリントの環境設定」を参照して、複合機の登録を行ってください。